



宮城県知事

みやぎ絆大使

村井 嘉浩 × 尾形 貴弘(パンサー)

「みやぎ絆大使」を務めるお笑い芸人・パンサーの尾形貴弘さん。

大活躍の昨年を振り返りながら、ふるさと・宮城への思いや今年の抱負をお聞きました。

昨年を振り返って

◆知事 明けましておめでとうござい
ます。本日は、パンサーの尾形貴弘
さんをお招きし、対談できることを
うれしく思います。

尾形さんにとって、2023年は
どのような年でしたか。

◆尾形さん 2023年は仕事の面で
飛躍の年になりました。そのきっかけ
の一つが、おとし放送された番
組のドッキリ企画です。3層の落
し穴に落ちて、ネタばらしが来ない
まま放置されたらどういう行動をと
るのか検証する企画でしたが、僕は
壁に足場を作ったり、服をつなぎ合
わせたりして脱出を試み、最終的
には7時間かけて自力で脱出しまし
た。それが多くの反響をいただき、
さまざまなお仕事につながりました。

◆知事 私もその番組を拝見しまし
た。誰も来なくて、すごく怖かった
でしょう。でも、苦境に立たされて
も諦めない姿が素晴らしいですね。

私は尾形さんが出演されているテ
レビ番組をよく拝見しています。
MCをされていた数字番組も大変面
白かったです。尾形さんの取り繕わ
ない、一生懸命なところが、はまり
役だったと思います。

◆尾形さん ありがとうございます。
数字番組の話をいただいた時は、こ
れもドッキリかと思いました(笑)。
おかげさまで、たくさんの方に見て
いただけて、本当にうれいです。



ないですか。

◆知事 私は昨年9月に、全国知事会
長に就任いたしました。以前にも増
して忙しい一年でした。そのような
中で、秋には台湾の大手半導体企業
が新たに国内法人を設立し、県内に
進出することが決定するなど、明る
い話題もありました。

◆尾形さん ますます宮城が活性化さ
れそうですね。

◆知事 そうですね。昨年は3年余り
にわたるコロナ禍によって停滞して
いた県民生活や社会・経済活動がよ
うやく動き始めました。県では、昨
年秋から今年3月にかけて観光キャ
ンペーンも実施しており、人の交流
もますます活発になると期待してい
ます。

芸人になったきっかけ

◆知事 尾形さんは東松島市のご出身
で、ずっとサッカーをされていたん
ですよ。

◆尾形さん はい。小学2年生から社



会人までずっとサッカーをやってい
ました。

◆知事 そんな中で、芸能界に入れ
たきっかけは何だったのですか？

◆尾形さん お笑いは昔からめちゃく
ち好きでしたが、芸人をやろうと
は思っていませんでした。でも、大
学でサッカー部に所属して寮生活を
していたときに、相撲部やラグビー
部の学生たちと一緒に「おもしろ風

呂入り選手権」というのをやって、優
勝したんです。周りのみんなが爆笑
していて、その時の気持ち良さが忘
れられず、一度は民間企業に就職し
たものの、辞めてお笑いの道に進む
ことを決意しました。

◆知事 パンサーは菅さん、向井さん
とのトリオですが、お二人との出会
いは？

◆尾形さん 二人は吉本興業の後輩
で、劇場で一緒になったりしていま
した。二人とも相方を探していたタ
イミングで、どうせなら三人でやる
うとなりパンサーを結成しました。

◆知事 私は大阪出身で、ずっと吉本
新喜劇を見て育ったので、笑いは生
活の一部なんです。以前、宮城県の
PRの一環で、「なんばブランド花月」
で吉本新喜劇に出演させていただい
たことがあります。あの時は、本
当に夢のような体験でした。

◆尾形さん だから知事は笑いに貪欲
なんですね(笑)。「なんばブランド花
月」は笑いの殿堂ですから、なか



か出られないですし、若手芸人の憧れですよ。

◆知事 東北地方はシャイな方が多い印象ですが、その中で尾形さんは貪欲に笑いを取りにいかれるので、すごいと思いますよ。

◆尾形さん 実は僕、一人のときは結構暗いんです。でも、皆さんがいるところでは、楽しませたいという気持ちになるので、スイッチを入れて全力でやっています。

◆知事 私も一人の時はそうですよ。

「やるときにはやる」、それがプロですよね。

ふるさと・宮城への思い

◆知事 今年で東日本大震災から13年が経過します。尾形さんのご出身である東松島市も、復興が進んで、すっかり風景が変わりましたね。

◆尾形さん そうですね。実家があった野蒜も津波で大きな被害を受けましたが、今は野蒜駅や小学校、住宅なども高台に移転して、新しい街並みが広がっていますね。

◆知事 いずれ何十年、何百年後に同じような津波が来るかもしれませんので、県民の皆さんには安全な場所に住んでいただきたい、そういう思いでこれまで復興に取り組んできました。

◆尾形さん 復興に当たっては、知事もやらなければならないことがたくさんあって、大変だったのではないですか。

◆知事 私は尾形さんの年齢(46歳)と

ほぼ同じ45歳で知事に就任したので、東日本大震災がなければ、もう知事を辞めていたかもしれません。

◆尾形さん 震災発生時に宮城にいて、しかも知事をやっていたわけですから、これはやはり天命かなと思うて、命懸けで頑張ってきました。

尾形さんもふるさと・宮城に関するお仕事は大切にされていますよね。尾形さんのご活躍を見て勇気づけられた県民の方もたくさんいます。

ると思います。

◆尾形さん うれしいです。僕、テレビでは宮城の良いところも話しますが、ウケを狙って悪口のようなことを言ってしまうときもあるんです。そういうのは良くないと思うんですけど…。

◆知事 いやいや、大丈夫です。そういうのも笑いに変えて、どんどんPRしてください(笑)。

◆尾形さん 僕を形成してくれたのはやはり宮城なんです。東松島市で生まれて、本当にやんちゃだった僕が、今こうして東京で頑張っているのも宮城のおかげだと思っています。本当に感謝しかありません。ありがとうございます。

今年の抱負

◆知事 尾形さんは、2024年もお忙しくなると思いますが、今年の抱負をお願いします。

◆尾形さん 僕も今年で47歳になりますから、今が一番脂が乗っている時

私、これからも笑顔をやさ、宮城のために頑張っていきたいと思っています。

◆知事 本日はどうもありがとうございます。

県民へのメッセージ

◆知事 最後に尾形さんから県民の皆さんへのメッセージをお願いします。

◆尾形さん 僕もこれまでいろいろなことがありましたが、どんな時でも、

の将来ビジョンに基づく取り組みを推進していきたいと思っています。特に、デジタル技術をあらゆる分野でフル活用して、県民の皆さんに便利だと実感していただけるような施策や、次の世代を育成・応援する取り組みに力を入れていきたいです。

とにかく目の前のことを一生懸命やってきました。宮城の皆さんは震災で本当に大変な思いをされたと思いますが、僕は皆さんを見て、自分も頑張ろうと思えたので、本当に感謝しています。これからますます頑張つて、宮城に恩返しさせていただきたいと思いますので、期待してください！

◆知事 力強いメッセージ、ありがとうございます。尾形さんの今後のますますのご活躍を心から応援しています。

宮城の皆さん サンキューー！



◆知事 ありがとうございます。面白くて一生懸命なところが、尾形さんが皆さんから愛される理由ですね。県民の皆さんも期待していると思います。

私は、今年も市町村や企業など、さまざまな方々と連携・協力しながら、県政運営の指針である「新・宮城

尾形 貴弘

宮城県東松島市出身。菅良太郎(菅)向井慧とともに2008(平成20)年にお笑いトリオ・パンサーを結成。趣味はサッカー。日本テレビ「有吉の壁」(毎週水曜午後7時)、仙台放送「仙台市青葉区 かのが便利軒」(毎週日曜午後0時55分)などに出演中。2019(平成31)年1月からみやぎ絆大使を務める。

村井 嘉浩

大阪府豊中市出身。防衛大学校を卒業後、陸上自衛隊東北方面航空隊にヘリコプターパイロットとして配属される。1992(平成4)年松下政経塾入塾、1995(平成7)年から宮城県議会議員を務め、2005(平成17)年11月から宮城県知事に就任。現在5期目。